

## 大会規則及び選手注意事項

1. 本大会は、2022 年度（公財）日本陸上競技連盟規則ならびに本大会要項及び申し合わせ事項によって行う。

### 2. 競技場使用について

- (1) 練習場は指定された場所で行い、係員の指示にしたがって練習をすること。
- (2) 本競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンの長さは、9mm以下とする。但し、走高跳と棒高跳は 12mm以下とする。
- (3) 医務員を本部席に置く。発病・負傷に対しては応急処置のみ行う。

### 3. 学校受付について

各学校（チーム）の監督（引率）は、以下のものを提出してください。

- ① 県中体連「大会提出用書類」の別紙 2「学校同行者体調記録表」を、学校受付に提出すること。
- ② 「リレーオーダー用紙」（予選） ※出場学校（チーム）のみ 2部作成し朝 8 時まで提出すること  
大会負担金の領収書が必要な学校（チーム）は、受付で申し出てください。

### 4. 競技者の招集について

- (1) 招集所は、100mスタート地点の競技場外に設ける。
- (2) 招集は、タイムテーブル記載の第一点呼時刻（第一コール）、最終点呼時刻（第二コール）を厳守し行う。
- (3) 競技者は、当該種目の招集時刻がきたら、招集所に用意された競技者一覧表の自分のナンバーに○をする。現地集合完了時刻 5 分前までに現地で待機し最終点呼を受ける。800m以上の競技については、腰ゼッケンを招集所で受け取り、現地に移動する。
- (4) リレーの招集  
選手は招集完了時刻までに、それぞれが走る区間のスタート地点で最終点呼を受ける。  
なお、決勝については、予選からの選手変更の有無に関わらず、招集完了開始 60 分前までにリレーメンバーオーダー用紙に記入の上、競技者係（招集所）に 2 部提出すること。
- (5) 競技者は、現地で最終点呼を受ける。その際、競技者係にユニフォームのアスリートビブスを見せ、ユニフォーム、バッグなどの商標の確認を受ける。代理人による最終点呼は認めない。
- (6) 2 種目を同時に兼ねて出場する競技者は、招集開始時刻までに「2 種目同時出場届」を競技者係に提出すること。この場合、招集時刻が後の種目の招集は行ったものとみなし、選手は直接現地で最終確認を受けること。審判長がやむを得ないと判断した場合に限り、フィールド競技については試技順を変更して出場させることもある。
- (7) 招集に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなして処理する。
- (8) 四種競技の招集は、最初の種目のみ競技者係に点呼を受けるが、以後の種目については招集完了時刻までに現地に集合する。控室は設けない。
- (9) 競技者の棄権については、大会の権威と運営を円滑に期するために極力避けること。やむを得ず棄権するときは、招集開始時刻までに競技者もしくは競技者の所属する学校の関係者がその旨を競技者係に申し出る。

### 5. 競技運営について

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、主催者で抽選してあるのでプログラム記載通りとする。予選後は、主催者で抽選決定し、掲示により知らせる。決勝において同記録のためレーンが不足する場合は、1/1000 で判定する。更に同記録の場合は抽選にて決定する。
- (2) レーンで行う競技種目で、棄権者があった場合は、そのレーンをあける。
- (3) 計時は写真判定（1/100 秒）とする。
- (4) 男女 800m は 1 レーンに 2 人入ってスタートすることがある。レーン順はプログラムに記載する。
- (5) 共通男子 3000m は安全上 2 段式スタートとすることがある。
- (6) セパレートレーンで行われる競技では、決勝線通過後自分のレーン（曲走路）を走り、他走者の妨害をしないこと。
- (7) 抗議申立書は陸上競技規則 TR8 によって総務に提出すること。抗議申立用紙は招集所に用意する。

(9) アスリートビブスは、必ずユニフォームの胸・背部に確実に取り付けること。ただし跳躍種目については胸・背部のどちらかでよい。走幅跳は必ず前面に取り付けること。

(10) ユニフォームの上衣の端は、ランニングパンツの内側に入れること。

### 6. 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方について

種目	性	練習	競	技
走高跳	男	1m45	1m50-1m55-1m60-1m65-1m70	(以後 3cm ずつ)
走高跳	女	1m20	1m25-1m30-1m35-1m40-1m45	(以後 3cm ずつ)
四種 走高跳	男	1m25	1m30-1m35-1m40……1m70	(以後 3cm ずつ)
四種 走高跳	女	1m05	1m10-1m15-1m20……1m40-1m45	(以後 3cm ずつ)
棒高跳	男	任意の高さ	2m20-2m40-2m60-2m80-2m90	(以後 10cm ずつ)

(1) 特殊条件によって変更する場合のバーの上げ方は、審判長が決める。

(2) 棒高跳の支柱移動については、現地の担当審判員にその旨を申し出ること。

### 7. 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人所有のものを使用することができる。個人所有のポールは現地で審判員から検査を受け、合格したものに限り。

### 8. 表彰について

各種目とも8位（リレー3位まで（各校5枚））までに賞状を贈る。

（1年女子800mはオープン競技のため賞状はない）

### 9. 災害時（悪天候）に関する確認について

(1) 悪天候の場合は、競技の中断やタイムレース決勝等の措置をとるなどして、競技日程を変更して行う場合がある。

(2) 大会本部で競技ができないと判断した場合には、大会を中止にすることがある。（原則として期日の延期はしない）また、大会負担金はいかなる場合も返金しない。

開門・閉門時間、練習会場および練習時間

	7月8日(金)		7月9日(土)	
競技場	本競技場	補助競技場	本競技場	補助競技場
開門	12:00	使用不可	6:30	6:30
閉門	17:00		18:30	17:30
トラック	12:00~17:00		7:00~8:30	7:00~18:00
走幅跳	○		○	○
走高跳	○		○	×
棒高跳	○		○	×
砲丸投	○	○(引率の付き添いが必要)	×	
備考	1・2レーン 中長距離 3~7レーン 短距離・リレー ※リレーは第4コーナー使用不可 8レーン 女子ハードル 9レーン 男子ハードル		1・2レーン 中長距離 3~7レーン 短距離・リレー ※リレーは第4コーナー使用不可 8レーン 女子ハードル 9レーン 男子ハードル	1・2レーン 中長距離 3~7レーン 短距離・リレー ※リレーは第4コーナー使用不可 8レーン 女子ハードル 9レーン 男子ハードル